

法経学部入学者受入れの方針

1 法経学部の求める入学者

法経学部では、複雑な現代社会に次々と発生する社会的諸問題を社会科学的視野で把握し、批判的・創造的見地から分析しうる人材を養成することを目指しています。その基礎として、知識それ自体よりも、知識を獲得する能力としての読解力・資料解析力、収集した事実をもとに展開する論理的思考力、その結果を的確にまとめ公表できる文章表現力とプレゼンテーション力を持つ人を求めています。

本学部は、法学科、経済学科、総合政策学科の3学科からなっています。各学科が求める入学者として共通するのは次のような人です。

- 国内外の社会に生起するさまざまな問題を分析し、その解決方法を立案するために必要となる専門的知識を身につけて、社会に貢献したいと考えている人
- 本学部での修学に強い好奇心、関心を持ち、問題について自発的に探究し、問題解決の能力を高めていこうとする意欲を持つ人
- 入学後の修学に必要な基礎学力を有している人

2 入学者選抜の基本方針

本学部では、各学科の教育目標に見合う学生を選抜するために、一般入試の他に特別入試として推薦入試と私費外国人留学生入試を実施し、複数の受験機会と多様な入試を提供しています（ただし、法学科では推薦入試を実施しておりません）。本学部の入試では、大学入試センター試験、個別学力検査、調査書、面接及び小論文などを組み合わせて志願者の能力や資質を総合的に評価します。

3 千葉大学入学までに身に付けて欲しいこと

学生が社会で活躍するための素養を修得できるよう、本学部は人間・社会・世界・環境のかかわりを専門的かつ総合的に扱います。したがって、広範で多様な学問分野の専門科目を学習することが求められます。どのような分野の専門科目を学習するにしても、国語と英語の知識が不可欠です。また現代の社会を理解するためには、その前提として地理歴史・公民の知識も必要となります。加えて経済学科の全ての学生と法学科・総合政策学科の一部の学生は、数学の知識を前提とした授業を履修することが求められます。また、環境問題や技術革新の社会的影響といった事象を学んでいく上で不可欠な教養として、理科の基礎的な知識を身に付けておくことも望まれます。

法学科入学者受入れの方針

1 法学科の求める入学者

法学科では、法経学部の求める入学者として示す項目を前提とした上で、創造的かつ論理的な思考能力を持ち、高い倫理性と思いやりの心を持って社会の現実に取り組もうとする人を求めています。

2 入学者選抜の基本方針

本学科の入試では、大学入試センター試験、個別学力検査、調査書、面接及び小論文などを組み合わせて志願者の能力や資質を総合的に評価します。

① 一般入試

(1) 前期日程：主に国語、外国語を中心とした基礎学力を評価します。

(2) 後期日程：英語（および地歴・公民）の基礎学力を前提とした上で、論理的思考力を重視した評価をします。

② 私費外国人留学生入試

小論文により、限られた時間内で与えられたテーマについて理論的に考えをまとめ、的確な日本語で記述する能力を評価します。面接では、日本語や英語の知識などの基礎学力、コミュニケーション能力、学習意欲、社会に対する関心の程度などを評価します。

3 千葉大学入学までに身に付けて欲しいこと

法経学部入学者受入れの方針で示されているように、入学までに、国語、英語、地理歴史・公民、数学、理科の基礎学力をつけることが必要です。

経済学科入学者受入れの方針

1 経済学科の求める入学者

経済学科では、法経学部の求める入学者として示す項目を前提とした上で、変動する経済社会に発生する効率や公正などに関する諸問題を、自ら発見し、分析し、解決策を見出していこうとする意欲を持つ人を求めています。

2 入学者選抜の基本方針

本学科の入試では、大学入試センター試験、個別学力検査、調査書、面接及び小論文などを組み合わせて志願者の能力や資質を総合的に評価します。

① 一般入試

(1) 前期日程：主に外国語を中心に数学及び国語の基礎学力を評価します。

(2) 後期日程：高等学校までに培った読解力、論理的思考力、表現力を評価します。

② 推薦入試

小論文により、限られた時間内で与えられたテーマについて理論的に考えをまとめ、的確な日本語で記述する能力を評価します。面接では、コミュニケーション能力、学習意欲、社会に対する関心の程度などを評価します。

③ 私費外国人留学生入試

小論文では、限られた時間内で与えられたテーマについて理論的に考えをまとめ、的確な日本語で記述する能力を評価します。面接では、日本語や英語の知識などの基礎学力、コミュニケーション能力、学習意欲、社会に対する関心の程度などを評価します。

3 千葉大学入学までに身に付けて欲しいこと

法経学部入学者受入れの方針で示されているように、入学までに、国語、英語、地理歴史・公民、数学、理科の基礎学力をつけることが必要です。

総合政策学科入学者受入れの方針

1 総合政策学科の求める入学者

総合政策学科では、法経学部の求める入学者として示す項目を前提とした上で、複雑な現代社会に関心を持ち、社会の病理に対し具体的な解決策を考え実施しようとする積極性を持つ人を求めています。

2 入学者選抜の基本方針

本学科の入試では、大学入試センター試験、個別学力検査、調査書、面接及び小論文などを組み合わせて志願者の能力や資質を総合的に評価します。

① 一般入試

(1) 前期日程：主に外国語を中心に数学及び国語の基礎学力を評価します。

(2) 後期日程：高等学校までに培った読解力、論理的思考力、表現力を評価します。

② 推薦入試

小論文により、限られた時間内で与えられたテーマについて理論的に考えをまとめ、的確な日本語で記述する能力を評価します。面接では、コミュニケーション能力、学習意欲、社会に対する関心の程度などを評価します。

③ 私費外国人留学生入試

小論文では、限られた時間内で与えられたテーマについて理論的に考えをまとめ、的確な日本語で記述する能力を評価します。面接では、日本語や英語の知識などの基礎学力、コミュニケーション能力、学習意欲、社会に対する関心の程度などを評価します。

3 千葉大学入学までに身に付けて欲しいこと

法経学部入学者受入れの方針で示されているように、入学までに、国語、英語、地理歴史・公民、数学、理科の基礎学力をつけることが必要です。